



飯山市の北西部、長野・新潟両県に跨る「関田山脈」は、斑尾山から天山水山までの標高千メートル前後の山並みだが、約八十キロに亘って連なる稜線で、沿線には、斑尾・なべくら・光ヶ原高原や、茶屋池、野々海池等の湖沼を擁し、稜線からの眺望もよく、ブナ林を主体とした風光明媚な森林地帯となっています。



関田山脈遠望（水尾山から）



ブナ林に覆われる稜線



自生するナベクラザゼンソウ

当地域は全国でも有数な豪雪地で、例年、積雪が五月にも及び、六月の雪解けとともに、カタクリ、オオ



信越トレイルの利用者

イワカガミ、シヨウジヨウバカマ、ミズバシヨウ、ナベクラザゼンソウなどの植物が咲き始め、訪れる人々を森林へと誘います。

この関田山脈の稜線は、長野県側は北信森林管理署が、新潟県側は上越森林管理署が管理しており、日本で初の管理されたトレッキングコース「信越トレイル」が設定されています。

信越トレイルは、一般の方々に関田山脈の自然や地域の文化・歴史に触れてもらうことを目的に、平成十六年からNPO法人「信越トレイルクラブ」を中心にルート整備が始まり、構想から八年目の平成二十年九月に全線が開通し、現在では、年間約四万人のトレイル愛好家等に利用されています。

今回は、信越トレイル沿いの見所などをいくつかご紹介いたします。

◆森太郎



樹齢300年以上の「森太郎」



ブナ林と澄んだ水面が美しい茶屋池

長野県側の鍋倉山麓には、樹齢三百年以上のブナの木があり、その中に「森太郎」が佇んでいます。

「森太郎」は、森の巨人たち一〇〇選に選ばれており、その威厳ある風貌が訪れる者を魅了します。

◆茶屋池、野々海池

信越トレイル周辺には、古くから多くの溜池があり、なかでも有名なのが、茶屋池、野々海池です。

新緑の芽吹きや紅葉の頃の湖面に映えるブナ林はひととき美しく、訪れる人を感動させます。

◆富倉峠 関田峠 牧峠 野々海峠

深坂峠など 十六の峠

関田山脈には、集落毎に十六もの峠があり、県境を越えて、人や生活・文化の交流が盛んに行われ、越後から塩、魚などの海産物を受入れる一方、信濃からは

和紙や菜種油などが送られました。古くは親鸞聖人の布教の道、上杉謙信の信濃攻めの道として伝えられている峠もあります。

◆森の家、山の家



拠点的利用が多い「森の家」



深坂峠から上越市を望む

信越トレイルには、「森の家」や「山の家」等の拠点施設があり、宿泊や休憩、インスタクターによるガイド等も利用でき、より快適なトレイルを応援しています。

今年の「信州ディスプレイネーションキャンペーン」のポスターには、「森の家」近くのブナ林が掲載されました。

みなさま、ブナ林に覆われた神秘的な稜線を、自然とふれあいながら歩く「信越トレイル」を是非一度、ご堪能ください。

◎アクセス方法

▼マイカー 上信越自動車道 豊田飯山インターから約四十分〜九十分（国道一一七号線経由各峠まで）

▼JR及び公共交通機関

JR 飯山駅からタクシーで約三十分〜九十分（国道一一七号線経由各峠まで）